

教科名	理科	科目名	生物演習	履修クラス	3年自由選択	
				担当者		
使用教科書		「B i o L o g y 生物」東京書籍			履修単位数	2
副教材等		「セミナー生物基礎+生物」第一学習社 「スクエア生物図説」第一学習社				

学習のねらい・育てたい力・目標	評価の観点・評価方法など
必修選択4単位「生物」で履修した内容を発展・深化させ、幅広い観点から生命現象を理解させる。大学入学共通テスト・生物系入試等多様な入試に対応できる学力を身につけさせる。	生物の様々な現象や法則性・多様性の発展的な内容について理解できているか否か、問題演習や実験を行う中で評価する。演習による理解度の確認とともに実験・観察への意欲・態度も観点に入れる。

年間授業計画			
月	予定時数	単元	学習内容・学習活動
4	中間 考査 まで 12	生命現象と物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞を構成する生体物質であるタンパク質を中心に生命現象との関連、及び代謝とエネルギーについて、問題演習を通じて理解させる。</li> <li>遺伝子の発現調節を大腸菌の遺伝子組み換え実験を理解している前提で実験を行う。</li> </ul>
5			
6	期末 考査 まで 14	遺伝子の働き 生殖と発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイオテクノロジーについて問題演習を通じて理解させる。</li> <li>生物の生殖と配偶子の形成および動物の発生のしくみについて問題演習を中心に理解させる。</li> </ul>
7			
9	中間 考査 まで 14	生物の環境 応答 生態と環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の刺激の受容と反応および動物の行動については問題演習を通じて理解を深めさせる。</li> <li>生態系の学習については図版や写真等を活用し、地球環境の保全の観点からも理解を深めさせるとともに野外観察なども取り入れる。</li> </ul>
10			
11	期末 考査 まで 14	生物の進化 と系統	<ul style="list-style-type: none"> <li>進化のしくみと生物の系統との関連について問題演習を通じて理解を深めさせる。</li> <li>分子進化の例などを具体例とともに理解させる。</li> </ul>
12			
1	3学年 特別 講習 期間	入試対策 各自の進路に応じた入試対策・問題演習	
2			
3			

担当者からのメッセージ (授業の受け方・家庭学習の仕方・受験勉強の仕方等)
必修選択「生物」4単位で学習した生徒がさらに2単位分追加して選択する講座である。必修選択4単位で学習した内容をさらに深化・発展させ、学習していく。教科書の分量も多く、記述も難しい部分があるので徹底した自宅学習が前提になる。生物で受験を考えている生徒は教科書をよく理解した上で、併用の問題集を何度も繰り返して学習すること。 ※生物選択者のクラス編成により進度が変わる場合がある。